

第3回横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)



謹啓

新緑の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
本研究会は急性期病院と回復期リハビリ病院のスタッフが一同に会し、情報を共有する場として企画し、今回第3回を迎えることとなりました。

脳卒中を起こした患者さんの急性期を脱した後の流れに関して、更なる検討が必要であると考えられます。

皆様の奮ってのご参加を、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

日時:2010年6月2日(水) 18:10~20:30

場所:横浜市社会福祉センター 4階ホール

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1

◇製品紹介 抗血小板薬「プラビックス錠」 サノフィ・アベンティス(株)

プログラム

◇【18:10】開会の辞

国立病院機構横浜医療センター 神経内科 部長 高橋 竜哉 先生

〈司会〉:

横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経外科 部長 坂田 勝巳 先生

◇【18:15-18:25】施設紹介

濟生会若草病院

横浜市立みなと赤十字病院

◇【18:25-19:00】リレー症例検討

横浜市立市民病院

明芳会新戸塚病院

◇【19:00-19:50】特別講演

『病院から在宅への移行をスムーズに行うために』

オカダ外科医院 院長(在宅医ネットよこはま 代表

・全国在宅療養支援診療所 世話人) 岡田孝弘 先生

◇【19:50-20:05】パネルディスカッション

テーマ『脳卒中の患者が在宅に帰った際に困ること』

〈司会〉:横浜医療センター 神経内科 部長 高橋 竜哉 先生

〈パネラー〉: 横浜市立みなと赤十字病院 脳神経外科 部長 持松泰彦 先生

屏風ヶ浦病院 副院長 阿部 仁紀 先生

オカダ外科医院 院長 岡田孝弘 先生

◇【20:05-20:10】参加施設紹介

◇【20:10】閉会の辞

横浜市立大学附属市民総合医療センター 神経内科 部長 西山 毅彦 先生

- ・当日会費として500円を収集させていただきます。
- ・研究会終了後、10階 HX3 (エイチバイスリー)にて情報交換会を予定しております。

共催:横浜脳卒中・リハ連携研究会
サノフィ・アベンティス(株)

横浜市健康福祉センター地図

お車での来場はご遠慮ください。

